

おおそうじ 「大掃除」

平成21年 12月 第3週放送

お せま
暮れも押し迫ってまいりました。

ねんまつ いちだいぎょうじ おおそうじ ちり ほこり はら ひととせ し
年末の一大行事と言えば、そう、大掃除です。一年の塵や埃を払い一年を締めくくる。日本人にと
っては、どのお宅でも行う大切な行事のひとつといっても過言ではないでしょう。修行道場でも、十二月
いちにち しゅぎょうそうぜんいん おおそうじ
の一日は、修行僧全員で大掃除をします。

そうとうしゅう そうじ さむ つく し つと
曹洞宗では、掃除を作務と申します。漢字で書きますと、作るという字と務めるという字を書いて、サム
さいきん ぜんそう さむ さい き さむえ ぶだんぎ さぎょうぎ ざっし こうこく はんばい
と読みます。最近では、禅僧が作務の際に着る作務衣を、普段着や作業着として雑誌の広告などで販売さ
れていきますので、ご存じの方、愛用されている方も多いのではないのでしょうか。
しゅぎょうどうじょう まいにち さむ まいにち か さむ
修行道場では、毎日欠かさず作務をしています。なぜ、毎日欠かさず作務をするのでしょうか。それ
は、作務が大切な修行のひとつだからです。

とう じだい ぜんそう ひゃくじょうぜんじ
中国で、唐の時代の禅僧に百丈禅師という方がおりました。
ひゃくじょうぜんじ しゅぎょうそう じゅうしよく な さむ てし
百丈禅師は、若き修行僧の時より、住職となり亡くなるその日まで、作務となれば、若い弟子た
ちと同じように力をこめて努めていました。弟子たちは、禅師の体のことを気遣い、気の毒に思っていまし
た。

でしたち ぜんじ さむ どうぐ かく ひ さむ
みかねた弟子達は、ある日禅師の作務の道具を隠してしまいました。道具がなくなり、その日一緒に作務が
できなかったことを悔やんだ百丈禅師は、一日食事を取られなかったそうです。

じぶんじしん こうどう
その日、自分自身がすべきことができなかつたからの行動でした。

しゅぎょう しょくじ しめ
つまり、一日にするべき修行が出来なかつたので、一日食事を取らない。と行動をもって示されたのです

いちにちなさ いちにちく
「一日作れば、一日食らわず」

ひゃくじょうぜんじ、 く しゅぎょうしゃじしん けつい しゅぎょうどうじょう しゅぎょうそう
百丈禅師は、この句を修行者自身の決意として残されています。修行道場の修行僧たちは、
く むね ひびはげ
今もこの句を胸に日々励んでいます。

く おおそうじ おっくう きも な はなし はげ
暮れの大掃除、「億劫だな」と気持ちが萎えた時、この百丈禅師の話 を思い出して励みにしていただけ
さいわ
ら 幸いです。